



ORIENTEERING JAPAN

94/12

JAPAN

シンキングスポーツ・オリエンテーリング

1994年〔平成6年〕12月10日発行

(毎月1回10日発行)

第11巻第12号通巻第137号

昭和63年6月24日第三種郵便物認可



滝ヶ主坊

福岡県福岡市早良区



Bouzu-ga-Daki

調査原図 福岡市都市計画図(1:5,000)
 調査期間 1992年9月~1994年9月
 調査者 浅川 民雄 岩井 馨 大坪 秀世
 小坪 彰 佐藤 博昭 曾根崎 淳
 仁木フミ子 原田 隆 吉田 智昭
 吉田 稔道 吉村 年史 吉村 充功
 吉村 芳季

協力 岩井 莊二郎
 作図者 岩井 馨 [大金シンボルマーク]
 印刷 川本印刷株式会社 1994. 10

福岡県オリエンテーリング協会



■今月の表紙：11月27日(日)，東京都で開催された第16回朝日オリエンテーリング大会より。スタートする三好 暢子さん(上尾OLC)。
撮影：船橋 昭一氏

■今月の地図：11月13日(日)，福岡市で開催された第17回西日本オリエンテーリング大会使用地図。コントロール・コード一覧は付録の「オリエンテーリング・カレンダー」裏に。
提供：作図者・岩井 馨 氏
(博多 初メテリングクラブ)



＝ I O F NEWS ＝

- ・オリエンテーリング／スキー
とオリンピック，もう一度・・・

訳：編集責任者・田口 肇 ... 4

＝ 連載 ＝

- ・大会運営学「大会を開き，育てる法」
第6回 アイディア

早大OC寿会 池ヶ谷 悦明 ... 5-7

＝ オリエンティアのための本棚 ＝

- ・第14回：中島 敦 「名人伝」

文：村越 真／カット：早川 喜代美 ... 8

＝ 全国PC愛好会のページ ＝

- ・パーマメントコース りぼ〜と

大高 竜亮 ... 9

＝ 資料 ＝

- ・クラブ購読「登録」一覧 (Ⅱ)

... 10-14

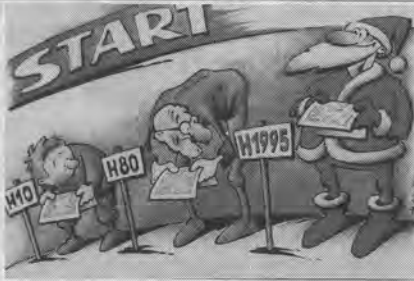
＝ お知らせのページ ＝

- ・PC情報 ・情報あれこれ

... 16



INTERNATIONAL ORIENTEERING FEDERATION
INTERNATIONALE ORIENTIERUNGS-VERBAND



Merry Christmas

Happy New Year

Deit Pehon
IOF PRESIDENT

Mark T. Gellan
IOF SECRETARIAT

President: Sue Harvey, Mill Hill, Coln, Perthshire FK16 8JL, Scotland, UK. ☎+44 750 941202, Telex: 1441791 B4120E
Secretary: Gunnel Larsson, Dug 76, S-191 21 Soleröda, Sweden. ☎+46 8-28 34 55, Telex: 14619-35 71 68
Bank account: Nordbanken 7028 77-60282, Swed. gnr 4000041 84020-3

STREAMER

IOF (国際オリエンテーリング連盟) 事務局から早々にクリスマス・カードが送られてきた。いつもながら楽しい絵がついていて、思わず笑ってしまう。この6月から会長に選ばれたスー・ハーヴェイ女史，事務局長になって8年ほど経過したレンナルト・レヴィン氏。今，彼らは実は「アジアの中の日本」に大きな期待を寄せているのではないのか。「オリエンテーリングとオリンピック」は，今世紀最後の大きなテーマになっているが，五輪種目として日の目を見るためには，彼らIOF上層部も大きな条件として挙げているTVなどメディアへのアピールと，オリエンテーリング未導入国への普及拡大が必要である。この2つは，アジアにおいて，特に先進の役割をもつ日本で後進的である。例えばJOA主催大会の案内は新聞・TV・ラジオをはじめあらゆるメディアに対し行なわれているのか。少なくとも招待状だけでも出せないのか。事務局でそれができなければ「普及・広報委員会」(を作って)がやればよい。国際交流は？ 特に未開発国(タイ，フィリピン，インドネシア，ベトナム，インド，ネパールなど)へのアプローチはどうなっているのか。国際大会の計画は？ スポンサーが見つからなければ，金が無ければ，できませんか？ 「国際委員会」や「イヴェント・企画委員会」がまず計画だけでも作るのだ。ただし，金をくれなきゃこんな「委員」などやるものか，というオリエンティアがほとんど？なら話は別だが…。

流人

I O F NEWS



From "ORIENTEERING WORLD" 1994 No.6 Nov.
Abridged translation by : Hajime Taguchi

先月号のこのページ、IOF関係の記事のなかで、IOF総会にIOF首脳陣が出席し、その模様などを今月号にご紹介する旨書いた。しかし、その後IOFから

新しい情報等がまた入ったので、そのなかからIOF事務局長レンナルト・レヴィン氏のオリエンテリングの記事を抄訳した。

編集責任者：田 口 肇

オリエンテリング / スキーOと オリンピック もう一度・・ レンナルト・レヴィン

オリンピック問題をもう一度…われわれは最近のORIENTEERING WORLD (OW)誌でこのことを十分扱っていたかどうか？ OW誌92/2では、前IOF会長のハインツ・チューディン氏によって、オリエンテリングをオリンピックに参加させようとする10年来のIOF評議会の努力について寄稿されていたことをご記憶だろうか(本OJ誌92/7参照)。さらに極最近のOW 94/3では、a)東京におけるIOF小委員会に、評議会メンバーのひとりであるイイナール・ウインドスタッド氏(ノルウェー)の出席、そこでスキーOを2002年冬季オリンピックの一種目として参加させるべく(衝撃的なビデオによって)紹介を行なったこと、そしてb)オリンピックの観衆をひきつけ、また1996年のアトランタ・オリンピックに結びつけて彼らをエキサイトさせるような一連のオリエンテリング・イベントの計画についての、USオリエンテリング連盟からの嬉しいレポートがあった。

そしてまた、ご記憶も新しいと思われるが、OWの前号では、スー・ハーヴェイIOF会長によってIOF百年祭の統一総会の模様も報告されており、また同じくIOFスキーO委員会の委員長ベリマルック・ゴルテニエミ氏(フィンランド)が、より早くより前進的に、オリンピック種目としてのスキーOを普及させようとする詳細な説明がなされている。

オリンピックへの野望のねらいをどこにおくべきか、フット、それともスキーO？

ハインツ・チューディン氏は前記の記事のなかで結論していた。『そして夏季大会は？現在の状況では、モンスター大会への顕著な傾向があり、これは(オリエンテリングを夏季大会に参加させることなど)明らかに問題外である。』= OJ 92/7の拙訳最後の部分。ハインツのコメントは今日でも生きているか？

IOFが有効的なロビー活動をするによって、オリエンテリングが2000年のシドニー大会のプログラムに載ることができるか

も知れないという意見が言われてきた。IOFは女子だけの新しいスポーツを加えたいのではないかという噂があった。そこでなぜ2000年に女子オリエンテリングの参加はない？ 事実、そのような“半分の勝利”でさえ驚くべき成果であった筈である。しかし、残念というべきだが、私の参加したIOF本部における最近の会議で、サラマンチ氏はその点を説明してくれた。彼自身やIOFによって是認されたシドニーの組織委員たちによってその概念が示された。(悲しいかなオリエンテリングについての少しの説明もない)

多過ぎる夏季の種目

ハインツによって引用されたポイントとして、夏季オリンピックの(IOF社会における流行語となっている)“巨大主義”は今日最も生きている。IOF百年祭総会において、また最近の国際スポーツ連盟総連合(GAISF)の会議でも、‘より多くの種目を加える’より‘徐々に削減する’という問題が将来の夏季大会についての全ての議論のなかで目立っている。冬季大会の方がいくつかの新しい種目の導入で利を得るということは明らかになってきたし、それはわれわれの多くにとって嬉しい驚きである！ ついでながら、1991年のGAISF会議においてさえ、冬季大会の担当である有名なIOF副会長(1963年以降のIOFメンバーである)マーク・ホルダー氏は、冬季五輪では新しいスポーツへの扉は開かれていると述べている。—彼はそのなかにはスキーOも含まれている旨ははっきりと発言している。結論は明白であり、IOFはオリンピック・スポーツとしてスキーOを推し薦めるべきである。

スキーO前進への努力

言うまでもないが、この結論はIOFによって引き出されてきており、‘オリンピック計画’は2002年冬季五輪の一部としてスキーOに焦点を当てながら進んでいる。ベリマルック・ゴルテニエミがOW前号で的確に書いているので私は繰り返さないが、励みになるニュースの断片を2~3加えておこう。

前にも述べたローザンヌのIOF本部で開かれた会議では、1995年3月のサヴォンリナ(フィンランド)でのワールドカップ大会に出席いただけるよう、サラマンチ氏に招待状を手渡せたことに満足している。サラマンチ氏は今まで見たこともないというスキーOについて、何らかの知識を得ることに興味があると言われ、回答を約束された。この大会の日には、IOF会長としての過密なスケジュールと重なってしまったが、その代わりIOFスポーツ・ディレクターのギルバート・フェリ氏が出席する。見込みある事実として、IOFはわれわれがオリンピック競技場に押し出そうとしているものを接近した場所で見察することになる。

新しい特徴

プログラムのなかに採用する新種目は今まではIOFによって決められていたが、その権利が開催地に与えられたことが新しい特徴である。その最終決定までの交渉は約1年ぐらいはかかるかも知れないが…

もう一つの特徴は立候補している各都市は最後まで争わないで、慎重な評価を経て、最終選考のための4つに絞られることである。“われわれの場合”では、1995年1月24日に、立候補している9つのうち5つの都市が却下されることが重要性をもつ。このときいずれの4つが残るかを述べることはもちろん難しいことである。他のスポーツよりスキーOを運営するのにより適しているいくつかを述べることは難しい。

1995年1月24日から、IOFが開催都市を最終決定する6月23日までの間は、IOFとそのオリンピック・プロジェクトのための重要な期間ともなるであろう。この5か月の間に、スキーOを冬季五輪のプログラムにぜひ必要なものとして4都市全てに売り込まなければならない。スキーOが1949年以来‘オリンピック・スポーツ’として認められていたことは、われわれにとって大きな助けにはならない。TVとの友好交流、高い競技レベル、視聴者のエキサイト—要するにオリンピック・スポーツとしての超越性—などの議論が交わされるのである。さい先の良いように祈り続けよう。(IOF事務局長)



IOF発行

"ORIENTEERING WORLD" 1994 No.6 より

大会運営学

— 大会を開き、育てる法 —

第6回 アイデア

早大OC寿会 池ヶ谷悦朗

劇的な変化をもたらしたのも

'82年から'83年にかけて、大学OLクラブによる大会運営は、東大OLK大会の全盛期であった。東大OLK大会は4大学大会の中で最も後発だったが、そのハンディをカバーすべく考えられた「6月に近場でやれば大勢集まる」という戦略が当たり、1500人を集める最大規模のイベントに成長していった。運営にも毎年新風を吹き込み、なかでも第5回大会（『ニツ塚峠』）で新設されたH21ASは他大学が相次いで追随する大ヒットとなり、ルールに盛り込まれるまでに至った。策波も良かった。第6回大会（『喜佐見』のちの『熊ノ木』）は東北自動車道の通行止というアクシデントに見舞われはしたものの、栃木初の本格的テレインの素晴らしさが人々を魅了した。

千葉大会は、狩猟との関係で、せっかく作ったニューマップが使えないという不運に遭いながらも、いち早く成績処理の電算化に取り組んでいた。

これに比べ、私が1年の頃の早大OC大会（第5回『高麗峠』）は全く精彩を欠き、何一つ威張れるものもなかった。ほとんどすべての面で他大学の後塵を拝していた。そうした中、われわれは復興の道を歩み始めたのである。

それから2年、第7回大会（『小櫃林道』）が大成功をおさめる。見開きB3のドデカイプログラムに始まった衝撃波は、山岸倫也氏がトロンボーンを演奏し、各コース図を写真撮影してミニチュア化した楯を贈呈した表彰式に至るまで人々に新鮮な驚きを与え続けた。当時、まだ存続していた雑誌『オリエンテeringニュース』にも絶賛の声が寄せられた。そして、以後、早大OC大会へのエントリーは1000人を下回ることがない。

この劇的な変化をもたらしたものは何か。その答の一つに「アイデア」がある。数々のアイデアの実現が、OC大会をドン底からダントツへと一気に押し上げたのである。

私のアイデア歴

初めに、私のアイデア歴を簡単に紹介しておきたい。

私の最初の大会運営への提言は、'83年にOCの会報に書いた『「即報」実現のために』という拙文である。その内容は――

- (1) B6版のいわゆる京大typeカードに諸々の記入欄を印刷した「レシート台紙」
- (2) ゴールレーンから速報所に至るまでの全業務のクラス別2ライン化と、第1色、第2色の組合せによる統一的な「色分け」
- (3) ゴールライン通過後、十分な長さの減速エリアを設けつつ、役員にとっての処理のしやすさも追求した、ぐるっと回って役員の位置まで戻ってきてもらうという「インターチェンジ作戦」

などの提案である。このほか、スタート時刻の設定次第でゴールのピークを抑えられるという、今でいうオフピーク・スタートの考え方について図入りで説明している。当時としては画期的な内容ではないかと思う。

'84年は自分たちの代の大会（第7回大会『小櫃林道』）ということもあって、実現させたアイデアは枚挙にいとまがない。先ほど述べた巨大なプログラムやミニチュア地図の楯も、私の発案である。

卒業後では'89年のインカレ・プロモーションビデオや電光速報、'92年のFAXエントリーシステムなどが挙げられよう。

このように並べてみると、ただ既存の物を組み合わせただけで過ぎず、アイデアと呼ぶことさえ恥づかしく思える。しかし、いずれにせよ、私が提供できるのは、これ位のレベルの

話題である。こうした発案によって、大会をより面白くし、運営者自身も、もっともっと楽しんでしまおう、というのが今回のテーマである。

『必要は発明の母』、ということは一――

私は、最後のOC大会を控えた4年の秋、ミーティングの際に時間を割いてもらって、アイデアに関する講義を行った。

私は、その時、まず最初に

『必要は発明の母』

と黒板に大きく書いた。そして、こう言った。

「必要は発明の母と言われます。つまり、必要性を見いだしてもいけないところに発明は生まれ得ないのです。しかし、この言葉は、もう一つ重要なことを言っています。必要は発明の母、あくまでも母ですから、つまり、それだけでは発明は生まれ得ないのです。要するに『発明の父』が必要なのです。」と。

この切り出しは、大いにウケた。そして、発明の母・ニーズに対して、発明の父として「シーズ」を掲げた。シーズとは問題を解決してくれそうな技術やヒントである。言い換えれば、ニーズとは「～するにはどうすれば良いか？」というアプローチであり、シーズとは「これを何かに使えないか？」というアプローチである。このシーズを抜きにして、アイデアは生まれ得ない。ニーズとシーズのめぐりあいによって、初めてアイデアが生まれるのである。

たとえば、速報板を見ている、なかなか自分の成績が出て来なくて、イライラする。なんとかならないか、と思う。ニーズの発生である。別の日、しゃれたパン屋の前を通りかかると「今度のパンは14:00頃焼き上がりです。」の掲示。「ふーん、なるほどねえ。・・・そうだーっ！速報があつとどれくらいで出るか、見通しが立てばいいんだっ！」――

潜在的な不満とパン屋の掲示が瞬間的に結びつく。

何がきっかけになるか、わからない。選挙の開票速報の開票率の表示から思いつくかも知れないし、エレベーターの前や駅のホームで思いつくかも知れない。高速道路の「あと何分」という表示などは、ほとんど同じ発想である。

話は少しそれるが、選挙と言えば、当確者にバラをつける。私の1つ上の先輩にあたる筆谷敏正氏は、これを見て順位確定者にバラをつけることを思いついたという。しかし、残念なことに、このバラつけは'83年の確か朝日大会（『小食土（やさしど）』）に先を越されてしまった。氏が悔しそうにしていたことを思い出す。

もう一つ例を挙げよう。

ストリーマーをたどって、前の人たちにつられ、曲がり角に気づかず真っ直ぐ進んでしまうことがある。「結局、ストリーマーじゃなくて、人を見て歩いているんだ。」と思う。その大会の掃り道、お巡りさん人形がしつこく道端に現れる。「そうだっ！」——かかしの発想である。でも、おちゃめでしょ。

さらに、もう一例。

『小樺林道』の大会の時、東京OLクラブからスタートで使う大型のデジタル時計を借りた。ペアOL大会で見て、カッコ良かったからである。ところが、あいにく故障中で、同クラブが所有する別の時計が来てしまった。少し小型で、ちょっと見づらい。「うーん、これなら従来の時刻札を使った方がいいなあ。とすると、この時計、どうしようか？」——シーズが先に発生した。そして、公式時刻を示すものとしてゴール地点に設置しようという解決策が見つかるまで、大して時間はかからなかった。

いかかであろうか。アイデアとは、こんなものだ。ニーズも必要ならシーズも必要なのである。どちらが重要かは甲乙つけがたい。とにかく、両者の劇的なめぐりあいがあって、初めて誕生するものなのである。

ニーズ・ドリブンとシーズ・ドリブン

ここに挙げたいつかの例を見ただけでもアイデアへの到達方法に複数のパターンがあることに気づく。つまり、ニーズが先行する

場合と、シーズが先行する場合である。

最近になって知ったことだが、新製品開発においても、ほぼ同じことが言われているらしい。つまり、市場ニーズ主導か技術主導かという話である。そこでは市場ニーズ主導型のことをマーケット・ドリブン、技術主導型のことをテクノロジー・ドリブンと呼ぶのだそうだ。この呼び方を私が挙げた2つのタイプに適用するなら、ニーズ・ドリブンとシーズ・ドリブンということになる。

先ほどの例で言えば、速報の進行状況表示と曲がり角の人形の件はニーズ・ドリブン、確定のバラとゴールへの公式時計設置の件はシーズ・ドリブンということができよう。

ニーズ・ドリブンのアイデアの例をもう少し挙げると——

第9回大会（『天狗岩』）における「順位バサミ」は好例である。順位バサミとは、各クラスの10位、20位、30位…の選手の速報用紙を数字札をつけた洗濯バサミで挟んで、参加者が順位を教えやすいようにするというアイデアである。速報板から成績を写し取る際に経験した、順位を数える面倒臭さへの不満が、このアイデアの根本にある。

第7回大会のプログラムでは、最初の見開きに「スタートの2時間前に姉ヶ崎」とデカデカと書いた。また、第14回大会（『両総用水』）のプログラムには、参加者がどこに何時に着けば良いかを書き入れる欄が作られた。およその所要時間も印刷されている。いずれのアイデアも、誰もがやっているはずの「どこに何時、それに間に合うためにはここを何時・・・」という逆算の経験がベースになっている。これらのアイデア、特にスケジュール早見表が普及・発展しないのは不思議なほどだ。また、あちこち見なければわからないプログラムに対して、さしたる不満が出ないのも不思議なことである。この話題については、もう一度触れる。

シーズ・ドリブンの例も挙げよう。

最も単純なのは、既存のものを別の場面で利用する、新たな用途に転用するという方法である。

第11回大会（『越生六地藏』）で、成績速報（当日成績表）をバックカーボン付きのコンピューター用紙に印刷することにしたが、一式は速報所に貼り出すとして、もう一式をどうしようかという話になった。用途は考え

ていなかったのである。そこで「史上初の女子更衣所内速報」と銘打って、女子更衣所に貼り出そうと考えた。しかし、女子更衣所は薄暗く長居するところではないと聞き、結局これは廃案となった。

さて、日常生活の中にもシーズはあちこちのところがある。

東京の地下鉄の、色の輪と矢印で案内するサインシステムは、そのまま大会でも使えそうだ。それから、ビルのあちこちで見かける非常口の案内表示。あの「非常口」の文字をたとえば「出口専用」とか「スタートはこちら」とかに変えたらどうだろう？特に、国際大会を考えた時、絵によるサインシステムは有効なはずだ。一般に、駅や空港であちこち、催事場、運転免許試験場のように多くの人が集まる場所には、そのままでも大会に使えそうなヒントがゴロゴロしているように思う。

コース図をミニチュア化した橋、しかも、写真に撮ることで縮小するというアイデアは、写真屋の年賀状関連の商品がヒントになっている。もちろん「自分か走ったコースの地図がそのまま橋になっていたら記念になるのでは？」という部分は、私がオリエンティアとして感じたニーズを反映させたものである。

これに類する賞品として、第13回筑波大会（『岩瀬鶴山』）の、筑波大作成地図をカラーコピーして作ったカレンダーや第16回群馬インカレの『行幸田』をプリントしたTシャツがある。これらも似たような着想ルートをたどったのではないだろうか。

さらに例を挙げよう。

留守電・リモート操作機能付きの電卓やウォークマンの類には、たいいてい定期入れサイズでカードタイプの操作マニュアルがついている。また、皆さんの中にも住所録などを縮小して定期入れに入れたり、リフィルにして持ち歩いている方もあるのではなかろうかとすると、先ほど述べたスケジュール早見表が切り取り線付きとか、別紙のカードという形で提供されるのは、もはや時間の問題かも知れない。

また、ハブニングや不具合がヒントになる場合もある。歴史上の発明でも、ガソリンエンジン、レーダー、モーターなどは、事故や間違、不具合がヒントになって生まれたものだという。

以前、新旧2種類のチェックカードを併用

した大会で、整理をしながら不揃いなサイズに不快な思いをしたことがある。しかし、その時、わざと2種類のサイズを用意することによって、机の上でトントンと揃えるだけで分類できることを思いついた。不具合の中にこそ、ヒントはあるものである。

手持ちの素材を増やす

では、どうすればアイデアを出せるのだろうか。私なりの考えを述べてみたい。

アイデアはニーズとシーズの接点で生まれる。したがって、ニーズやシーズを一つでも多く持っていた方がチャンスは多い。手持ちの素材が多いほど、アイデアが生まれる可能性が高いのである。

では、その持ち駒を増やすにはどうすれば良いか――。

まず、手持ちのニーズを増やすには、多くの大会に参加することが唯一かつ最高の方法である。オリエンテーリングとオリエンテーリング大会を知らない者から、適切なアイデアは基本的には生まれ得ない。参加者として感じた不平や不満を前向きに昇華させれば、必ずアイデアにつながるはずだ。

いま「基本的に」と断ったのは理由がある。時として、素人の新鮮な発想が有効に働く場合があるからである。

第8回早大OC大会（『深良財源区』）は、初めて更衣所の入口と出口を分けた大会である。これを発案したのは、それほどオリエンテーリングをやらない会員だった。私は、こわくまいかかないだろうと踏んでいたのだが、やってみたら思いのほかうまくいった。彼に脱帽した次第である。

次に、シーズを増やすにはどうするか。

それには、なんでもヒントにしておもうという好奇心で周囲のモノや事象を見つめることが大切である。ふーん、へーんと思った時はチャンス。あと一息という所まで来ている可能性がある。そこで、何かに利用できないか考えてみよう。それに見合うニーズが自分の内部にないかどうか、知的な探検を試みるのである。

私は、大学2～3年の頃、何を買い取ってもないのに、東急ハンズやDIYショップによく出かけた。実は、ヒントや素材を集めるために、である。こういう店では、使い道は

思いつかないが面白そうなものが見つかる。そんな場合には、とりあえず買ってしまおう。つい先日、ダイレクトメールで使われる、裏が透明の封筒を見つけたので買って来た。「こんな封筒でプログラムが届いたら恥ずかしいよなあ。」などと考えながら、

つねに考えることによって

私が今でも忘れられない瞬間がある。プログラムを見開きB3サイズにすることを思いついた瞬間のことだ。それは渋谷駅でタダで配られていたタブロイド版の新聞を山手線の中で読み終えた時のことだった。

当時、私はヒントを求めて身の回りの雑誌から電車の中吊り広告、就職関連の資料に至るまで、すみからすみまで目を通していた。第7回のプログラムに「セッター座談会」という形でコースプロフィールを載せたが、あれなどは、まさに就職資料からのアイデアの転用である。実際には、ほかにも色々なことを考えた。表紙を表紙にとどめず、目次として活用することも考えたし、紙を斜めに折る方法とか、ページごとに折る位置をずらして紙の端をインデックスとして利用する方法なども検討した。

さて、前置きが長くなったが、渋谷から読み始めて、下車駅の高田馬場駅に近づいた。「ためになるような記事は特になかったな。」と思って、たたもうとした瞬間のことだった。「紙をたたまなければ大きく使える！折らずに行こう！B3なら大きな字だってイラストだって自由に使える！」――私は、浮力の原理を発見した時のアルキメデスのように、人ゴミの中を駆け抜けていった。

ニュートンは「りんごが床から落ちるのを見て」万有引力の法則を発見したと語る一方、なぜ思いついたのかという質問に対しては、「常にそれについて考えることによって。」と答えたという。歴史に残る偉大な発見と、たかか紙を折る折らないの話と一緒にするのは笑止の沙汰だが、少しは通じるものがある。B3の話で言えば、とにかく色々なものに目を通し、あーでもないこーでもないと考えたからこそ、あの着想が得られたのだと思う。アイデアとは、普段の、そして不断の努力があってこそ生まれるものなのだ。その証拠に私の発案は大会運営の分野に限られている。

アイデアは資質ではなく、努力の産物なのである。

オズボーンのチェックリスト

とは言い、効率良く努力するためのガイドラインのようなものなら、少しはありそうだ。オズボーンの著書『独創力を伸ばせ』の要点をMITクリエイティブ・エンジニアリング・ラボラトリーが簡潔にまとめた『オズボーンのチェックリスト』がそれである。その9項目を以下に示す。

- (1)ほかに転用できないか？
- (2)ほかのものを応用できないか？
- (3)色、動き、音、型などを修正したら？
- (4)拡大したら？
- (5)縮小したら？
- (6)代用したら？
- (7)アレンジしなおしたら？
- (8)逆転させたら？
- (9)組み合わせたら？

こうして見ると、これまでに挙げた実例がこのチェック項目にかなり該当していることに気がつく。早くからこのチェックリストのことを知っていたら、私も、もっとたくさんのアイデアを出せたかも知れない。

楽しむことこそ本質

オリエンテーリング大会は競技会である。その意味では今回の話は的外れとも言えるかも知れない。しかし、大会はイベントでもある。イベントの本質は、趣向を凝らすことにある筈だ。また、極端な話、大会は他人のために開いているのではない。自分のために開く。開きたいから開く。それが本当の姿だと思う。楽しむことこそ本質なのだ。

アイデアを出して、趣向を凝らす。運営者自身が、誰よりも大会を楽しんでしまう。参加者が楽しいと思う大会は、実は、運営者がより楽しんでいる。そういうものだ。

競うように運営技術を磨き、趣向を凝らす。そんな日がまた来ることを期待したい。

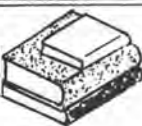
前進しない者は、後退するばかりである。

――ゲーテ

オリエンティアのための本棚



第14回：中島敦 「名人伝」



文：村越 真／カット：早川喜代美

大事なレースにコンパスを忘れてしまったあなた！心配は要らない。「今日はノーコンパスで方向感覚を磨くのだ」と嘘ぶけば、あなたの間抜けな忘れ物も、果敢なチャレンジに早変わり。お守りのようにコンパスを握りしめて（それでいてめったにコンパスを使わない）女子学生オリエンティアからも尊敬の眼差しを受けることは請け合いです。ついでに中島敦の「名人伝」も引用したら、あなたの教養にも尊敬が注がれることだろう。古代中国を題材にした、当代随一の弓の名人たろうとして修行を重ね、ついには不射の射を体得した紀昌という男の話、それが名人伝である。

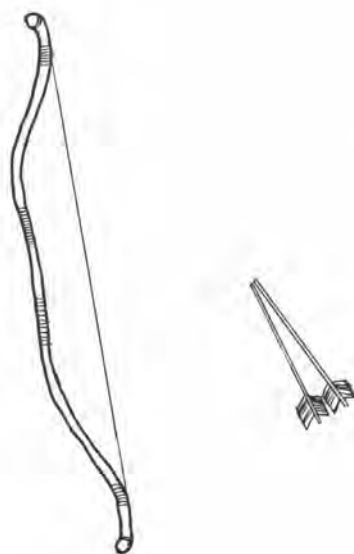
天下第一の弓の名人になろうと志し飛衛に弟子入りした彼のした第一の訓練は「瞬きさせること」である。修練2年、瞬きせぬ紀昌のまつ毛には小さいいっぴきの蜘蛛が巣をかけるに及んだ。次の訓練は「視ること」であった。己の髪の毛をもってつないだ蚤を終日にらめ暮らすこと3年、蚤は馬のような大きさに見え、人は高塔、馬は山であった。豚は丘の如く見えた。雀躍して家に戻り、再び窓際の蚤に立ち向かい弓を射れば、矢は見事に蚤の心の臓を貫いて、しかも蚤をつないだ髪の毛さえ断れぬという。

これだけでも荒唐無稽だが、これから先がもっと凄い。飛衛に追いついた紀昌は、飛衛の勧めで甘蝇老師のもとを訪れる。いきり立って技を見せる飛衛を見て、甘蝇老師は微笑む。「それは所詮射の射・・・」。あまりに凄すぎて、作者自身どんな訓練をさせればよいかわからなかったのだろう、「如何なる修業を積んだものやらそれは誰にも判らぬ」だ。しかもその奥義が不射の射だ。とにかく9年の修業の末に彼は不射の射を身につけ都に戻ってくる。名人がいかなる技を披露してくれるかと期待する都の人を後目に、彼はいっこうに弓をとろうとしないのだが、不思議なことに夜になると彼の屋敷に忍び込もうとした盗人が何かの力に叩かれたようにへいから転げ落ちたりする。彼の中の弓の精の仕業だと、彼の名声は更に高まった。その一方で彼は弓という道具を見てもその名前もそれが何をやる道具かも忘れてしまうのである。都ではしばらくは、弓道家は弓を手にするのをはずかしがり、また文筆家は筆をとるのを恥じたという。

荒唐無稽の寓話も、技術論的には興味深い。道具というのは身体能力の拡張のためにあるのだが、使い慣れてしまうと何のために道具を使っているのか分から

なくなる。コンパスなしでやるっていうとみな「えっ!？」という顔をするけれど、そういう人ほどどんな時にコンパスを使うべきかを知らない。道具を使わずにやるということは、道具利用の原点を問い直すことに他ならない。

中島敦がそこまで意識したかどうかはわからないが、とにかくこの短編は、先端を目指すあなたにも、コーチ業を目指すあなたにもお勧めの一編である。私が初めてノーコンパスで走ったのは、この小説に感化されたことである。名人の境地には到達できなかったが、オリエンテーリングに飽きはじめていたそのころの私にとって、コンパスのない緊張感新鮮で心地よかった。小さいものを3年間眺めていたら、蚤が大きく見えるようになったなんていう逸話も「コーチの訓話」として使えそうでしょうか？地図は大きい方が方向指示の間違いが少ないっていう研究もあるし、実際1万分の1を使ったアメリカのショートはとても地図が読み易かった。これから3年間ノルウェーの地図を眺めて暮らしたら、5000分の1くらいに見えるようになるかしら？



パーマネントコース



りぽ〜と

□1994年4月4日(月)
三重県 No.11 ~大高 94-1~
「河芸」

[距離] 10km
[ポスト数] 9本 PC・O-MAP

近鉄名古屋線「豊津上野」駅下車。駅下りて右手の「八千代製パン所」でマップを扱っている。外に掲示されているマスターマップは明瞭。高低差の少ない田園地帯を巡るファミリーコース。本来このコースは10ポスト設置されていたのだが、⑤が一昨年完成した道路に丁度被ってしまったために廃止され、9ポストとなった。マスターには⑤の位置もフリーハンドで記されているが、直線は④→⑥に引かれている。また、ポスト番号は順送りされずに付けられている。①は「本城山青少年公園」の展望台下にある。②から北に抜ける小径はかなり不明瞭。③と④は古い鉄製のポストが使われている。④→⑥は新道を使うと早い。途中、⑤のあった箇所を通るがポストはなかった。⑥はマスターでは道の分岐になっているが、実際はもう少し東寄りにある。今のマスターではやや混乱を生じかねないので、⑥は完全に消去し、⑥→⑩を⑥→⑨と表示したほうがよいのではないだろうか。⑥を移動して再設置するのであれば話は別だが。基本的には長閑な良いコース。

(三重県OL協会 ☎0592-24-2404)

□1994年4月29日(祝)
岐阜県 No.20 ~大高 94-~
「ファミリーパーク」

[距離] 10km
[ポスト数] 10本 PC・O-MAP

新岐阜バスターミナルより「武芸谷口」または「ファミリーパーク」行きで「ファミリーパーク」下車。北に400m程の「岐阜市少年自然の家」がスタート地点でマップがある。外のマスターも明瞭。3度山を登り下りする健脚向きコース。先ず①からつづら折りの遊歩道を登

る。尾根筋に辿り着くと①がある。大変眺めのよいところ。せっかく登ってきたのに②では池に向かって一気の下り。そして③では再び山越えとなる。③の前は夏場はやや歩きにくいかもしれない。④は道から奥に入っているの見過ごさないように。⑦→⑧の山越えはこのコースの最大の難所。⑦から程無く見上げるばかりの急坂になり、それを鞍部に向かって直登しなければならない。漸く切り切ると、僅かに尾根筋を歩いただけで下りになる。この下り坂がまた急なうえに滑りやすく苦勞する。この区間だけでも30分を要した。⑨は大ヒノキのある「大智寺」境内。⑩はマスターよりやや北東にある。この日は「関中池」コースを回るつもりで「関市立少年自然の家」へ一旦赴いたのだが、あいにく休みのうえに外の掲示板も空で全くコースが分からず、急遽タクシーで「岐阜市少年自然の家」に向かった。そのためスタート時刻が15時14分と遅く、ゴールは17時57分。17時過ぎに最終バスは行ってしまい、2km程離れた「東洞前」という違う路線の停留所まで歩いた。後から分かったことだが、北野農協前を東に向かうと「北野」という停留所があり、そちらの方がより近い。比較的新しいコースなので整備状況は良好。

(岐阜市少年自然の家 ☎0582-29-2888)

□1994年4月30日(土)
岐阜県 No.17 ~大高 94-3~
「掛妻山峡」

[距離] 10km
[ポスト数] 11本 PC・O-MAP

近鉄掛妻線「掛妻」駅または名鉄掛妻線「本掛妻」駅下車。「広瀬」,「東津汲」,「北方平」行きバスで「北方平」下車。北に徒歩5分の「掛妻川丘苑」がスタート地点でフロントにマップとマスターがある。外の案内板は朽ちて使われていない。全12ポスト設置されていて10kmコース(①→⑩の11ポスト)と6kmコース(①→④⑩⑪の7ポスト)の2コースある。山道は⑤→⑦と⑩のみ

で、他はゴルフ場の合間や山裾を巡る。整備状況は極めて悪く数年はほったらかしの模様。殆どのポストが老朽化しているうえに、③不明、④3面完全に真っ白で記号判読不能、⑦倒れて草むらに埋もれている。また、⑥からすぐ下の林道に下る道が不明瞭で危険。⑩は新しく道が整備されているので分かり辛いが、地図上の位置に今でも健在。新しい分岐かつての古い分岐を間違えないこと。⑪は「城山公園」の頂上にある。ゴール後、バスの待ち時間が2時間近くあったので⑩を確認しに行った。ポストはそれほど傷みもなく、しっかりと立っていた。現状では再整備するまでは閉鎖したほうがよいのではないだろうか。

(掛妻川丘苑 ☎0585-22-1181)

□1994年5月1日(日)
愛知県 No.9 ~大高 94-4~
「愛知こどもの国」

[距離] 5km
[ポスト数] 12本 PC・O-MAP

東海道本線「蒲郡」駅で名鉄蒲郡線に乗り換え「こどもの国」駅下車。徒歩15分の中央管理棟内利用課にマップとマスターがある。マップは1:7,000で調査は1993年2月~3月。外の案内板はなく、中央管理棟の建物自体がスタート地点のようである。昨年オープンしたばかりの新設コース。ポストは通常のものよりは背が低く小型。園内の賑やかなコースではあるが、巧みに設定してあり、アップダウンも多く楽しく回れる。また随所に猿ヶ島、兎島の浮かぶ三河湾が見渡せる眺望の良さも見どころ。⑥だけは道からは見えないのだが、マスターの位置とやはずれがあったためこずった。こどもの国は無料開放されており、特に閉園時間などはない。家族連れでも安心して回れる好条件のコース。惜しむらくは、園内にOLに関する案内が何もなく、一般の方がコースの存在を知る術がない。もっと宣伝して欲しいものである。

(愛知こどもの国中央管理棟利用課 ☎0563-62-4151)

りぽー:〒344 春日部市武里団地5-23-503
大高 竜亮

O-JAPAN クラブ購読 (登録) 一覽 (II)

平成6年8月現在

購読者番号	県番号	正式クラブ名称 (略称クラブ名, アルファベット名)	肩書	代表者名
都道府県名		事務局 (住所, 氏名, 電話)		
		創立年 (和暦) 月	会員数 (合計, 男, 女)	機関紙 (有無, 名称, 回数)
2244	16	富山オリエンテーリングクラブ (富山OLK, TOLK) 〒939-27 富山県婦負郡宮ケ島141-5 山口 敏夫 ☎0764-66-3288 1987年 (昭和62年) 9月 会員数 (14名, 男12名, 女2名)	会長	岩坪 仁之
富山県				機関紙 (「TOLK報」年5-7回) 姉妹クラブ (国内外に希望)
☆富山OLKは、結成以来2年ごとに大会を開催してきており、本年10月にも第4回富山OLK大会を開催しました。また、平成7年度には県内で東日本大会の開催が予定されており、現在県OL協会と連携しながら準備活動を行なっています。オリエンティアが少なく、ゲレンデにも制約がありますがその分、北信越OL連協や富山大OLC、さらに他の地域のオリエンティア等との交流を深めながらカバーしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。				
1865	18	サンワコン オリエンテーリングクラブ (サンワコンOLC, SCOC) 〒910 福井市花堂北1-7-25 (株)サンワコン ☎0776-36-2790 1973年 (昭和48年) 4月 会員数 (21名, 男16名, 女5名)	部長	林 博
福井県				機関紙 (「サワコンニュース」年4回)
☆昭和48年に三和測量建設(株)の職域クラブ・三和OLCとして創設されました。近く、社名が(株)サンワコンに変更されるため、それに合わせてクラブ名も、今年度よりサンワコンOLC (SCOC) に変更しました。活動としては、福井市の市民春季、体育、スポーツレクリエーション、秋季大会の4大会を運営し、文殊山パーマネント、足羽山ファミリーコースの2コースの管理を行なっています。また、福井県OL協会および福井市OL協会の事務局を置いています。				
1277	19	山梨中央オリエンテーリングクラブ (山梨中央OLC, YCOL) 〒400 甲府市東光寺三丁目2-22 清水 善博 ☎0552-32-5210 1975年 (昭和50年) 11月 会員数 (15名, 男13名, 女2名)	会長	一木 昭男
山梨県				機関紙 (無)
2282	20	長野オリエンテーリングクラブ (長野OLC, NOLC) 〒381 長野市高田北条471-8 馬場 和彦 ☎0262-41-4535 1974年 (昭和49年) 9月 会員数 (6名, 男6名, 女0名)	会長	美谷島 孝
長野県				機関紙 (「Route Choice」不定期) 姉妹クラブ (国内に希望)
2370	20	信州大学オリエンテーリング部 (信州大OLC, SUNS) 〒380 長野市小柴見274 桃山アパート B5 新垣 良憲方 信州大OLC 長野支部 ☎0262-23-6838 記入丸 会員数 (20名, 男15名, 女5名)	会長	新垣 良憲
長野県				機関紙 (「コバ」年5回程度)
☆信州大学の工学部と教育学部がこの長野支部です。信州大OLCの活動として、月1回、オリエンテーリングをしています。大会への参加人数はごく少数ですが、'誰でも気軽に楽しめるOL' をモットーとしているサークルです。				
2143	22	静岡大学オリエンテーリングクラブ (静大OLC, SUOL) 〒422 静岡市大谷836 静岡大学学生課気付 静岡大学校エンターリングクラブ ☎054-237-1111 1972年 (昭和47年) 4月 会員数 (59名, 男46名, 女13名)	部長	和久田 好秀
静岡県				機関紙 (「O-Japan 平」年10-12回) 姉妹クラブ (静岡県立大学短期大学部校エンターリングクラブ, 他も国内外に希望)
☆本学 (静岡市) は週2回、工学部 (浜松市) は県立大学短期大学部と一緒に週1回の部内レースを行なっている。女子が例年団体戦入賞を果たすなど強さを見せているが、男子はあまりバツとしないようだ。しかし、今年は…。インカレでは、いかに良い成績を残すかということだけでなく、いかにクラブ全体がまとまるかを目標に、毎日毎日がんばっている。				

- 1947 22 静岡県教職員オリエンテーリング会 (静岡県教職員O.L.C., 記入丸) 会長 鈴木 明徹
静岡県 〒421-32 静岡県庵原郡蒲原町蒲原5300の5 県立庵原高校内 深沢 秀明 ☎0543-88-2155
1982年 (昭和57年) 4月 会員数 (24名, 男17名, 女7名) 機関紙 (無)
姉妹クラブ (静岡O.L.C.)
☆メンバーの大半はオリエンテーリング以外の部活動の指導に追われる毎日です。そうした中で、静岡O.L.C.との共催で、静岡市で谷津山大会、藤枝市で蓮華寺公園大会を開催することができるようになりました。細くても息の長い活動を続けていこうと思っています。
- 309 23 オリエンテーリングクラブほのくに (O.L.C.ほのくに, JAHO) 会長 川口 匡
愛知県 〒441-11 豊橋市賀茂町西屋敷22-6 白井 啓 ☎0532-88-0890
1980年 (昭和55年) 5月 会員数 (15名, 男15名, 女0名) 機関紙 (「ほのくに」年4-6回)
姉妹クラブ (湖西オリエンテーリング同好会)
☆「ほのくに」とは、愛知県東部東三河地方の平野一帯を称していた古名「穂の国」からとったものです。この穂は、蒲の穂のことです。クラブのシンボルマークには、蒲の穂を用い、生涯スポーツとしてのオリエンテーリング活動をモットーとしています。したがって、オリエンテーリングをこよなく愛し楽しむ仲間が集まってきています。オリエンテーリングのために仕事と家庭に迷惑をかけない程度に細く長く活動したいと考えています。毎年の大会運営とかテラインの調査・作図といった派手な活動はどちらかというとな少なめです。
- 1751 23 椋山女学園大学オリエンテーリング部 (椋山O.L.C., 記入丸) 部長 林 真夕弓
愛知県 〒465 名古屋市名東区高社1-35 吉村 典子 ☎052-774-2307
1991年 (平成3年) 4月 会員数 (41名, 男0名, 女41名) 機関紙 (「ベストエントリア」年1回)
姉妹クラブ (名古屋大学O.L.C., 看護短大O.L.C.)
- 1948 23 岡崎オリエンテーリング委員会 (岡崎O.L.委員会, 記入丸) 会長 加藤 照
愛知県 〒444 岡崎市十王町二丁目9番地 岡崎市教育委員会体育課内 ☎0564-23-6363
1974年 (昭和49年) 2月 会員数 (31名, 男28名, 女3名) 機関紙 (無)
☆当委員会は創立以来21年となりました。岡崎東公園に隣接する山林をホームグレンデにして、年2回の大会を継続し計41回のO.L.大会を開催し、その他年1回の指導者講習会を開いてまいりました。このようにして楽しいO.L.を岡崎市民に伝えています。また、毎回の大会には市外、県外より多数の参加をいただき喜んでおります。
- 2241 23 三河オリエンテーリングクラブ (三河O.L.C., MKWO) 会長 尾和 薫
愛知県 〒444 岡崎市庄司田一丁目2-1 三河オリエンテーリングクラブ ☎0564-53-8809
1976年 (昭和51年) 7月 会員数 (記入丸) 機関紙 (「CLUB NEWS」年12回)
☆機関紙の発行の他「O.L.情報紙」も毎月発行。会員外の人も対象に大会開催の情報を提供。入会歓迎。毎月第1金曜日に例会開催。
- 2383 23 つるまいオリエンテーリングクラブ (つるまいO.L.C., TURU) 会長 松橋 徳敏
愛知県 〒466 名古屋市昭和区鶴舞1-2-32 愛知県労働協会内 ☎052-733-6751
1977年 (昭和52年) 5月 会員数 (49名, 男39名, 女10名) 機関紙 (「つるまいユース」年12回)
☆やる気とアイディアにあふれた人間のあつまるクラブです。新入会員募集中!
- 1858 26 京都橘女子大学O.L.C. (京都橘女子大O.L.C., 記入丸) 部長 青柳 紀子
京都府 〒607 京都市山科区大宅山田町34 京都橘女子大学内 ☎075-571-1111
1984年 (昭和59年) 会員数 (18名, 男0名, 女18名) 機関紙 (「Fair Play」年10回程度)
☆こんにちは。私たち橘娘は個性派ぞろいの18名で仲良くやっております。今年は創部10年目の記念すべき年でもあり、これからますますタコと化し、全国の皆様とお会いすることを楽しみにしております。
- 883 26 朱雀オリエンテーリングクラブ (朱雀O.L.K., 記入丸) 会長 樋口 一志
京都府 〒617 長岡京市開田三丁目4-7 樋口 一志 気付 ☎075-951-6958
1992年 (平成4年) 5月 会員数 (14名, 男10名, 女4名) 機関紙 (有, 年8回程度)
☆毎週木曜日に合同トレーニングをしています。昨年度は6人リレー、今年度は京都カップ第2戦の運営をします。京都在住、在勤の方の入会をお待ちしております。



- 1885 京都府 26 京都女子大学オリエンテーリングクラブ (京都女子大OLC, KWU) 部長 矢奥 ゆかり
〒605 京都市東山区三条通神宮道東入中野町201 中村方 高畑 加奈子 ☎075-551-5209
記入札 会員数 (15名, 男0名, 女15名) 機関紙 (有, 京都大学と共通)
姉妹クラブ (京都大学オリエンテーリングクラブ)
☆京都の東山七条に大学があり, 学園Map「阿弥陀ヶ峰」以外にも 0-Mapのある山が近くにたくさんあり,
とても恵まれた環境で活動しています。
- 2170 京都府 26 京都大学オリエンテーリングクラブ (京大OLC, 記入札) 部長 一瀬 建日
〒606 京都市左京区田中上玄京町23 中町 和雄気付 ☎075-724-3484
1979年 (昭和54年) 会員数 (57名, 男52名, 女5名) 機関紙 (「PENALTY」年10回)
姉妹クラブ (京都女子大学オリエンテーリングクラブ)
☆インカレ団体戦HEでは辛くも3位でしたが, 新2回生の台頭で今年はますます楽しみです。クラブ
の構成は, 有能な人…少し, ボケ…少し, ツッコミ…その他大勢です。自分の身を捨ててみんなを笑
わせる人には「火だるま」の称号が与えられます。'95のゴールデンウィークには京大大会 (第10
回) があります。ぜひ来るべし。
- 689 大阪府 27 オリエンテーリングクラブ レオ (OLCレオ, LEO) 会長 愛場 庸雅
〒565 吹田市千里山西 4-40-24-215 阿部 由紀子 ☎06-821-3032
1977年 (昭和52年) 6月 会員数 (32名, 男24名, 女8名) 機関紙 (無)
☆大阪に本拠地を置くクラブですが, 転勤等で会員が全国に散らばりつつあり, かけ持ちクラブ員も多
数います。活動内容は, 合宿, 練習会, リレー大会参加, 宴会など。練習会等はオープンにしていま
すので, クラブ員以外の方もお気軽に参加してください。
- 693 大阪府 27 岸和田オリエンテーリング協会 (岸和田OL協会, KPLA) 会長 瀬戸 照久
〒596 岸和田市作才町 187 瀬戸 照久気付 ☎0724-37-3094
1975年 (昭和50年) 3月 会員数 (32名, 男27名, 女5名) 機関紙 (「KOLA」年12回)
姉妹クラブ (国内外に希望)
☆大阪南部地域の同好者が集まって結成された我がクラブも, 今年度末で20年を迎えます。技術的に
はまだまだですが, アットホームなクラブ運営で, H 7.4.16 に20周年記念大会を開催します。私達
の笑顔を見に来てください。
- 1183 大阪府 27 大阪市立大学オリエンテーリングクラブ (大阪市大OLC, OCU) 主将 平川 康夫
〒558 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学 オリエンテック部 ☎06-472-5935 (平川)
1973年 (昭和48年) 会員数 (30名, 男23名, 女7名) 機関紙 (「困途路有涙=コントロール」年7回)
☆伝統あるクラブだけど, その伝統は年を増すごとに消滅しかかっている。
- 2208 大阪府 27 甲南OLCコンターズ (コンターズ, CONT) 代表者 游 賢忠
〒565 豊中市新千里東町 2-5 A18-104 辻村 修 気付 ☎06-831-2368
1978年 (昭和53年) 7月 会員数 (13名, 男8名, 女5名) 機関紙 (「こぼりんぐ」年6回)
☆甲南高校 (兵庫県芦屋市) のOLCとして発足したが, 生え抜き4人とその家族が現在の構成員とな
っている。「甲南」の名はいまや自他ともに意識していない。クラブ独自の活動は, 年に1回8月第
1日曜日の練習会 (94年8月7日が第14回) と, 年に6回の機関誌「こんたりんぐ」 (94年3月号が
第79号) ぐらいで, むしろ京都OLC・ふるはうす・大阪OLC・OLP兵庫・広島OLCなどでの
活躍で知られている。
- 2245 (大阪府) 27 関西大学オリエンテーリング愛好会 (関大OLL, KRA) 部長 松井 一登
〒630-01 奈良県生駒市鹿ノ台西 1-4-15 小宮山 実 気付 ☎07437-8-2127
1984年 (昭和59年) 4月 会員数 (25名, 男22名, 女3名) 機関紙 (「Sensible」年5回)
- 2305 大阪府 27 追手門学院大学体育会オリエンテーリング愛好会 (追手門学院大OL, OGUO) 顧問 吉田 浩幸
〒 茨木市西安威二丁目 1-15 追手門学院大学 吉田 浩幸 気付 ☎0726-43-5421
1992年 (平成4年) 6月 会員数 (12名, 男12名, 女0名) 機関紙 (「北星」年4回)
姉妹クラブ (国内に希望)
☆「自から楽しむ」の精神にて, 設立して2年目となりました。今後は部員が丸となって活動に力を
注ぎ, インカレに多くのエリートランナーを送り込めるように頑張りたいと思っています。皆さんの
ご指導の程よろしくお願いたします。

- 523 28 オリエンテーリングクラブ兵庫 (OLP兵庫, OLP) 会長 藤崎 泰正
 兵庫県 〒658 神戸市東灘区住吉山手 7-3-4 神戸大学住吉宿舎 A-403 藤崎 泰正 気付 ☎078-821-8782
 1973年(昭和48年)12月 会員数(81名, 男64名, 女17名) 機関紙(「ミルチ」 年10回)
 姉妹クラブ(国内=関東, および海外に希望)



- 1399 28 宝塚市オリエンテーリング協会(宝塚市OL協会, TOLA) 会長 土田 伸行
 兵庫県 〒665 宝塚市清荒神二丁目 4-26 定本 俊彦 気付 ☎0797-87-3648
 1975年(昭和50年)10月 会員数(25名, 男16名, 女9名) 機関紙(無)

☆当協会は、地域クラブとして多様なニーズに従って運営されています。一つには、自然に親しみ、健康づくりを推進する活動です。構成員の年齢層の幅が広いことも特徴です。第二には、公認大会や各種大会に参加して会員の競技力を高める活動です。第三には、OLの普及活動です。ふれあい淡路大会や県内各種大会のスタッフとして研修を積み、来年度(1995年)には、市体育協会加盟団体として「創立20周年記念市民OL大会」を開催します。「ファミリーOL」を標榜し、市教育委員会との協力を強めながら、OLの人口を大きく広げたいと考えています。今後は、「ジュニア選手権(仮称)」を開催し、小中高校生と共にOLを楽しむ機会を実現したいと願っています。「スマイル」、「花のある街から」のTシャツを見かけたら声をかけてください。

- 2057 28 神戸須磨オリエンテーリングクラブ(神戸須磨OC, SUMA) 会長 真鍋 卓也
 兵庫県 〒655 神戸市垂水区日向 1-5-1-410 河村 弥一郎 ☎078-707-7839
 1990年(平成2年)4月 会員数(13名, 男7名, 女6名) 機関紙(「田野横断」 年6回)

☆兵庫県立須磨友が丘高校OL卒業生有志で結成したクラブ。様々な問題を抱きながらも、創立5年目を迎える。今後、前途有望(?)なクラブ。会報が先行している面がありますが、各自でそれなりに活動しています。大会などで御迷惑を多々掛けることかとは思いますが、今後とも、よろしくお願ひいたします。会報交換クラブを募集中です。

- 2419 29 奈良オリエンテーリングクラブ(奈良OLC, NOLC) 会長 箱谷 茂信
 奈良県 〒630 奈良市七条 1-6-9 城内 敏美 気付 ☎0742-46-3138
 1980年(昭和55年) 会員数(8名, 男8名, 女0名) 機関紙(無)
 姉妹クラブ(国内外に希望)

☆クラブの高年齢化が進んでおりますが、運営、参加と頑張っていきたいと思ひます。体力作り等に興味のある方の入会をお待ちしております。

- 2987 32 島根OC(島根OC, SiOC) 理事長 財間 定義
 島根県 〒694 大田市大田町大正西 3 財間 定義 気付 ☎08548-2-1405
 1991年(平成3年)4月 会員数(16名, 男8名, 女8名) 機関紙(「オリエンティア」 年12回)
 姉妹クラブ(国内=西日本に希望)

☆1. 島根関係のオリエンティアだけで構成している純血性。県民の愛称は「シマネスク」。
 2. 県OA会員は伝統的にレク指向です。それはそれとして、私たち競技オリエンティアにも積極挑戦を指向する同好者の期待に応える情報交流、県外遠征に努めています。

- 2234 33 オリエンテーリングクラブ吉備路(OLC吉備路, OLCK) 会長 伊東 洋一郎
 岡山県 〒701-01 倉敷市下庄 681-3 吉岡 康子 気付 ☎086-462-2378
 1985年(昭和60年)3月 会員数(36名, 男32名, 女4名) 機関紙(「吉備路」 年12回)
 姉妹クラブ(岸和田OLA)

☆枠も形も参加する貴方次第。入部金、会費一切不要。クラブ員である行動が認められれば立派な会員です。若い気持ちの持てる方の参加をお待ちしています。

- 640 34 福山オリエンテーリングクラブ(福山OLクラブ, FOLC) 会長 佐藤 忠彦
 広島県 〒720 福山市向陽町一丁目23-4 堀江 康博 気付 ☎0849-55-6409
 1974年(昭和49年)6月 会員数(30名, 男25名, 女5名) 機関紙(「OL通信」 年12回)

- 639 34 広島オリエンテーリングクラブ (広島OLC, HOLC) 会長 江坂 純義
 広島県 〒732 広島市東区牛田新町三丁目 7-14-101 三好 正夫 気付 ☎082-220-1657
 1973年(昭和48年) 9月 会員数(60名, 男45名, 女15名) 機関紙(「みち」 年12回)
 ☆クラブは昨秋発足20周年を迎え、半年遅れではあったが今年4月に記念の大会も無事に終えて、また新たな一歩を踏み出したところ。発足時15名だったクラブ員も現在は60名となり、OLに対する取り組み方も“楽しみ型”や“自らのレベルアップを目指す型”等いろいろであるが、経験豊富な熟年組と行動力のある若年組が互いに協力し合い、且つまた親睦を深めながら、30周年、50周年を迎えられるよう活動を展開している。また県OL協会の登録クラブとして協会主催の行事にも積極的に協力し、普及活動にも努める一方、「全国勤労者ふれあい大会」では団体戦3連覇に貢献する等の実績も残している。
- 2209 34 広島大学体育会オリエンテーリング部 (広島大OLC, 記入丸) 主将 高山 勉
 広島県 〒724 東広島市西条町下見4257-2 キャンパス重楽 A-106 ☎0824-24-9072
 1976年(昭和51年) 7月 会員数(45名, 男39名, 女6名) 機関紙(「赤い稲妻」 年10回)
 姉妹クラブ(広島女子大学, 広島女学院大学等)
 ☆平成7年1月7日(土)に第15回広島大学大会を開催します。8日(日)には山口大学大会も開催されます。宿を幹旋しますので、ぜひご参加ください。
- 2353 35 岩国オリエンテーリングクラブ (岩国OLC, 記入丸) 会長 寺本 光夫
 山口県 〒741 岩国市錦見八丁目 7-57 吉村 三嗣 気付 ☎0827-43-4642
 1975年(昭和50年) 4月 会員数(30名, 男24名, 女6名) 機関紙(無)
 姉妹クラブ(柳井OLC)
 ☆OL指導員で始まったクラブですが、レクリエーション、キャンプ、スキー、サイクリング等、公認指導員の資格を持つ人が多い。創立当初に比べ大会参加者が少なくなったため、参加費、交通費補助等、特典あり。走り屋を一人でも増やしたい。
- 2457 35 山口大学オリエンテーリング部 (山口大学OLC, 記入丸) 主将 竹村 大輔
 山口県 〒753 山口市大字平井字立石 151-10 117 117 B-1 竹村 大輔 気付 ☎0839-32-4030
 1976年(昭和51年) 6月 会員数(64名, 男35名, 女29名) 機関紙(「せいのめがらう」)
 姉妹クラブ(山大工OLC)
 ☆ここ何年間は、不振が続いている山大OLCですが、部員一人一人のクラブに対する自覚を高め、ケジメをつけることでこの状態から脱出しようと思っています。ちなみにクラブ内の雰囲気は和気あいあいとして楽しくやっています。
- 2458 35 山口大学工学部オリエンテーリング部 (山大工OLC, YTOL) 部長 山田 重幸
 山口県 〒755 宇部市東梶返 1-8-8 Jハウス 106号 山田 重幸 気付 ☎0836-32-0140
 記入丸 会員数(14名, 男14名, 女0名) 機関紙(無)
 姉妹クラブ(山口大学OLC)
 ☆私たち山大工OLCは、明るさ楽しさとはもかく、その中に厳しさも含み、競技するときは一生涯命やり、遊ぶときは遊び、毎日が楽しいサークルです。
- (香川県) 37 カガワ・オリエンテーリングクラブ=仮称=(未定, KOLK) 代表者(発起人) 浄光 裕樹
 〒658 神戸市東灘区住吉山手二丁目 1-4 野村建設工業住吉寮内 ☎078-854-0479
 1994年(平成6年) 5月 会員数(1名, 男1名, 女0名) 機関紙(無)
 ☆クラブといっても単につくりたいということで、まだ1人です。香川県に少しでも関係ある人はまずご連絡を。
- 福岡県 40 博多オリエンテーリングクラブ (博多OLC, YOKA) 代表者 原田 隆
 〒813 福岡市東区香椎駅東四丁目26-5-302 岩井 馨 気付 ☎092-683-4031
 1993年(平成5年) 4月 会員数(17名, 男16名, 女1名) 機関紙(「ゆらゆら」 年10回)
 ☆博多オリエンテーリングクラブ[会員募集中]。・1993年4月結成、11月にNew-Mapを作成し、クラブの第1回大会を開催。・それぞれのスタイルでオリエンしています。・会報交換クラブも募集!!

平成6年度
第17回 西日本オリエンテーリング大会

平成6年11月13日(日)
(社)日本オリエンテーリング協会
福岡県オリエンテーリング協会

0 500m



ALL CONTROLS 81
(百の位の 2 は省略)

縮尺 1 : 15,000
等高線間隔 5m

	主要道路		きれつ、乾いたみぞ
	道路		テラス、横穴
	道		こぶ(大/小)、穴、小凹地
	小道		池、湿地、井戸
	小径、切り通し		河(横断不可/可)、せき
	不明瞭な小径		小川、季節的水路、湧水点
	植生界(明確/明瞭)		倒木、はた場(しいたけ床)
	柵(通行不可/可)		立入禁止の開けた土地
	農業用レール(横断可)		立入可能も開けた土地
	送電線、鉄塔(高塔)、小塔		果樹園・樹木園
	ほこら・記念碑、炭焼釜跡		民間等の敷地
	岩(大/小)、岩石群		駐車場
	墓、墓地		植林地・荒地・伐採地
	建物、ビニールハウス		走行可能
	岩がけ、土がけ		歩行可能
	通行不能のがけ		通行困難
	石壁、土壁		倒木・下草による走行障害

PC情報

■愛媛県「久万高原ふるさと村」コース
▽△▽

この11月6日、日本アマチュア無線連盟主催の全国ARDF94の大会会場となるため、積極的に新設を広報していなかったコース。JR四国バス、松山高知急行線で「久万」下車。伊予鉄久万バス「ふるさと村」行きで約10分。「久万」からはタクシーが便利。マスターマップとマップは、久万高原ふるさと旅行村事務局(売店)にある。正月以外は年中無休。

【ふるさと村】 ☎0892-41-0711】

【久万町教育委員会】 ☎0892-21-0139】

愛媛県O.L協会 伊藤 好信

情報あれこれ

■パソコン通信に地図関連フォーラム誕生

▽△▽

パソコン通信の最大ネットの一つ、ニフティサーブに、今年10月「山の展望と地図のフォーラム」(FYAMAP)が誕生した。その名前のように、山岳展望と並んで地図を中心テーマとしており、さらに話題ごとにくつかの「電子会議室」に分けられ、種々の情報交換が行なわれている。

このフォーラムの特徴の一つに、地図関連のフリーソフトウェアが登録されていることがある。マニアの間では有名な山岳展

望シミュレーションソフト「やまおたく」や、数値地図を読み込んで本格的な鳥瞰図が描けるCGソフトなども登録されており、手元のパソコンにこれらのソフトを移し込んで色々移用することができる。

【このフォーラムへの連絡先:

田代 博 NIFTY serve ID=SDI00790】

▽△▽

＝(財)日本地図センターの「地図ニュース」12月号より＝
提供:愛媛県・伊藤 好信

■本年中は、発行の遅れなどいろいろとご迷惑をおかけしました。来年は「健康で元氣」をモットーに2500ページと再来年1月の150号を目指して頑張ります。皆様も良いお年を

流人

<カナディアン航空/O-JAPANよりお知らせ>

CANADA '95 ORIENTEERING FESTIVAL

1995年7月8～11日 SAGE STOMP 3-DAY = カムルプス

15～23日 INT'L 5-DAY = エドモントン/カルガリー



WELCOME!

私ども西部カナダのオリエンティアは、北米最高の風光のこの地に、世界中のオリエンティアの皆様が再びお越しくさるようお待ちいたします。1990年のAPOCに参加された方々はきつとうなずかれることと思います。参加されなかった方々は、この1995年のエキサイトメントを逃してはなりません! フェスティバルが行なわれる場所は、様々なタイプのトレイルでのオリエンテーリングと、雄大なカナディアン・ロッキーの忘れられない思い出を結びつける機会を提供することでしょう。

以上はこの大会の要項の冒頭にある宣伝文ですが、そうです、カナダ西部としてはその1990年以來のビッグなイベントが企画されました。当時は日本から120人のオリエンティアがエントリーし、隣国アメリカからの参加者数を上回るにぎやかでした。

今回はAPOC兼ワールドカップといった公的な大会はありませんが、それなりにのんびりした雰囲気でのオリエンテーリングの友達の輪づくりができるのではないのでしょうか。

また、この大会は西部カナダ選手権、カナダ選手権(2日間)、同ショートディスタンス選手権が併催されることになっていますので、日本のこれからの「全日本大会」や国際複数日大会の企画運営への参考にもなります。

そして、何より『カナダの大自然』を満喫していただきたいのです。

編集者も同行、記事を書きます。

【旅行日程】 = 予定(案) =

◇Aコース 20日間

7月7日(金)～7月26日(火)

◇Bコース 15日間

7月12日(水)～7月26日(火)

部分的には鉄道での移動、ロッキー・マウンテン国立公園の北部(ジャズ・周辺)、中・南部(コロンビア大氷河、レイク・ワイス、パワ、恐竜遺跡など)のそれぞれ1～2日間の観光、最後にバンクーバー市内観光を1日予定します。

【費用】

何とかAコース35万円程度、Bコース30万円程度には抑えたいと思っておりますが、参加人数等にもより未定です。

宿泊のグレードによっては更にセーブが可能、また、航空券/エントリーの幹旋/手続きのみもOKです!

◇お問合せ/O-JAPAN編集部=20時～22時= または
仮申込みは◇カナディアン航空 ☎03-3212-5811 (内線252)
田口まで ◆このこと以外の用件での電話はご遠慮ください。

<人数によってツアーを計画します。仮お申込みを1月20日頃までお願いいたします。(仮申込書は カルガ裏に) >

O-JAPAN 発行人/田口 昭子

〒233 横浜市港南区日野南7-9-5

TEL.045-891-7004 FAX.045-891-2500

分室=Annex TEL.0287-77-1977

郵便振替口座/(番号)00270-9-46870 (加入者名)O-JAPAN 編集部

: 購読料

: '94.10月～'96.3月

¥5,400

: (高校生以下)

¥2,400

: 1部あたり頒布価格

¥300

: 編集責任者/田口 肇

: Chief Editor: Hajime Taguchi

: Editorial Address:

: 7-9-5, Hino-minami, Kohnan-ku

: Yokohama, 233 Japan